

TOSHIBA

MAGNIA 3135R

本格サーバの性能を2Uサイズに凝縮
省スペースを極めた高性能2Wayラックモデル



限られた運用スペースで
効果的なコンピューティングパワーを発揮

Pentium®III プロセッサを最大2個まで増設可能

高性能CPU Pentium®III 733MHz / 866MHz / 1BGHzを最大2CPUまで搭載可能。

ECC SDRAMメモリスistem(最大4GBまで対応)

余裕のメモリ容量と高速アクセスにより、様々なアプリケーションサーバとして対応可能。

ホットプラグ可能なハードディスクを4台搭載可能

わずか2Uの厚さながら、4台ものHDDを内蔵可能。RAIDコントローラも搭載でき、HDDホットプラグが可能。

コンパクトなクラスタシステムの構築が可能

ディスクアレイ装置「ArrayFortシリーズ」、統合クラスタリングソフトウェア「DNCWARE ClusterPerfect」と組み合わせることにより、コンパクトなクラスタシステムを構築することが可能。



高性能CPU Pentium® IIIプロセッサ

1BGHzを採用

フロントサイドバスが133MHzの

高性能 CPU Pentium®III プ

ロセッサ733MHz / 866MHz

/ 1BGHzを採用し、システム

全体のパフォーマンスを高めています。また、1C

PUあたり最大256kBの2次キャッシュを搭載し

2Wayの対称型マルチプロセッシングにも対応し

ています。



最大4GBのメモリ空間

高速のPC133対応メモリ採用。1GB SDRAM

をサポートし最大4GBのゆとりあるメモリ空間を

実現しました。

最大144GB(36GB × 4台)のHDDを内蔵可能

本体内に最大144GBの

ディスクを内蔵。また、最

新のSCSIテクノロジーであ

るUltra160 SCSIに対応し

たRAIDコントローラを採用

し、高速、大容量のディスクレイシステムを提供

します。



最高300Mbpsの送信性能を実現

LANカードを増設し、100Mbps LANを3ポート束ね、

送信帯域幅を向上させることで、送信性能を向

上させるALB(Adaptive Load Balancing)に対応。

LANインタフェースの二重化と、WOL対応

LANカードを増設することで、LANインタフェ

ースの二重化を実現します。また、クライアントから

サーバの電源ONを可能にする、WOL(Wake

On LAN)にも対応しています。

サーバ管理機能搭載

サーバ内の温度、冷却ファン、電源ユニットなど

のコンポーネントの状態を一元監視、管理する

専用コントローラを標準搭載。コンポーネントの動

作状況をフラッシュメモリに記憶するログ機能に

より、故障解析・回復の迅速化を図ります。

サーバ監視ソフト「HarnessEye」

サーバ本体上で動作し、運用状況を見守るサー

バ監視ソフトを標準で搭載。サーバ内温度や冷

却ファンの状態、DMI(Desktop Manage-

ment Interface)に定義されたハードウェア構

■ MAGNIA3135R基本仕様

機種名		MAGNIA3135R
CPU	メインプロセッサ	Pentium®III 733MHz / Pentium®III 866MHz / Pentium®III 1BGHz
	プロセッサ数(最大)	2(Pentium®III 733MHz × 2またはPentium®III 866MHz × 2またはPentium®III 1BGHz × 2)
キャッシュ		32kB / CPU
セカンドキャッシュ		256kB / CPU
メインメモリ (ECC付き)	メモリサイズ(最大)	4GB
	増設単位	128MB / 256MB / 512MB / 1GB
補助記憶装置	HDD 最大(本体内容)	144GB(36GB × 4台)(10,000rpm)
	内蔵HDD(インタフェース)	9GB / 18GB / 36GB(Ultra160 SCSI, S.M.A.R.T対応)
	ディスクベイ	標準 3.5型 × 4(ホットプラグ対応)
		最大 3.5型 × 4(ホットプラグ対応)
FDD 標準		3.5型(720kB / 1.44MB) × 1
RAIDコントローラ		オプション(RAIDコントローラF 32MBキャッシュ)
SCSI制御機構(オンボード)		Ultra160 SCSI × 1, Ultra Wide SCSI × 1
電源装置		標準 1台
CD-ROM装置		24倍速 × 1
キーボード		オプション
マウス		オプション
LANインタフェース		100BASE-TX / 10BASE-T Ethernetオンボード標準(WOL, AFT, ALB対応) × 1 LANカード(オプション)追加搭載により冗長構成可
表示機能 I / Oポート	ビデオRAM	4MB
	シリアルポート	2チャネル(RS-232C D-sub 9ピン)
	パラレルポート	1チャネル(D-sub 25ピン)
	マウスポート	1チャネルPS / 2互換
	キーボードポート	1チャネルPS / 2互換
	USBポート	2チャネル(× 2)
CRTインタフェース		1チャネル
デバイスベイ		5.25型 × 1(CD-ROMが占有)
I/Oスロット	PCI	64bit / 66MHz × 1 32bit / 33MHz × 1
	ISA	-
	PCI / ISA	-
無停電電源装置(UPS)		オプション
電源		AC100V 50 / 60Hz
消費電力		460W
本体エネルギー消費効率(J区分)(*3)		0.090W/MTOPS(733MHz) 0.079W/MTOPS(866MHz) 0.073W/MTOPS(1BGHz)
磁気ディスクエネルギー消費効率(区分)(*4)		0.95W/GB(B)(9GB 10,000rpm) 0.54W/GB(B)(18GB 10,000rpm) 0.36W/GB(C)(36GB 10,000rpm)
環境条件		温度:10 ~ 32 湿度:30% ~ 80%
本体寸法(mm)		幅:435、奥行き:575、高さ:88
本体質量(最大)		21kg
対応OS		Microsoft® Windows NT® Server4.0、Microsoft® Windows® 2000 Server、 Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server、 Novell® NetWare® 4.2、Novell® NetWare® 5

(*1) WOL(Wake On LAN) : LAN経由でサーバの電源をONにする機能。 AFT(Adapter Fault Tolerance) : LANカードの二重化。
ALB(Adaptive Load Balancing) : 複数のLANポートを使用して送信帯域幅を向上させる機能。

(*2) USBポートはUSB対応周辺機器全ての動作を保障するものではありません。また、Windows NT®ではサポートされません。

(*3) 本体エネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める複合理論性能で除したものです。

(*4) 磁気ディスクエネルギー消費効率とは、省エネルギー法で定める測定方法により測定した消費電力を、省エネルギー法で定める記憶容量で除したものです。

- MAGNIAは、(株)東芝の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- NetWareは、米国ノベル社の登録商標です。
- Pentiumは、米国Intel Corporationの登録商標です。
- Ethernetは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
- 本カタログに掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。



株式会社 東芝 デジタルメディアネットワーク社

PCサーバ事業部 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビルディング)TEL(03)3457-3019



安全に関するご注意

※ 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず
「取扱・操作に関する説明書」をよくお読みください。

お問い合わせは最寄の支社支店コンピュータ担当へ

北海道支社 (011)214-2536	西東京支店 (042)526-6201
東北支社 (022)264-7633	神奈川支社 (045)664-8484
新潟支店 (025)246-8611	静岡支店 (054)273-4532
長野支店 (026)228-3351	中部支社 (052)564-8762
北陸支社 (076)445-2680	関西支社 (06)6440-2163
東関東支社 (043)299-1012	中国支社 (082)212-3681
北関東支社 (048)640-1124	四国支社 (087)825-2463
東京支店 (03)5424-8057	九州支店 (092)735-3043

● 資料の内容はお断りなしに変更することがありますのでご了承ください。● 本カタログに記載しております全商品及び役務等をご購入の際消費税が付加されますのでご承知をお願いします。